



編集・発行 大町市老人クラブ連合会 長野県大町市大町 3887 番地 大町市役所内 電話 (0261)22-0420 内線 474

## 交通事故に 遭わないために

大町警察署長  
清水 宏光



北アルプスの山並みの残雪が徐々に少なくなるにつれ、春の訪れが待ち遠しく感じる季節となりました。

皆様方には、平素から、警察業務全般にわたり、深いご理解と格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに對し厚く御礼を申し上げます。

地域にお住まいの高齢者の方々が各方面で活き活きと活躍されていることは大変喜ばしいところであります。

全国的には、高齢者が犯罪や交通事故の被害に遭うケースが増加しておりますが、管内の犯罪や交通事故の発生状況等を踏まえ、皆様にご注意を頂きたい点を述べさせて頂きます。

### ◎ 特殊詐欺にご注意を!

昨年、長野県内で発生した特殊詐欺は、被害件数二二五件、被害額約四億九千万円と、前年と比べ被害額で三億円余り減少しましたが、未だ多くの高齢者が巧妙化する手口で騙されており、

特に多い手口は、息子や孫を騙った

「オレオレ詐欺」で、被害全体の約四割を占め、親族への愛情を逆手に取った卑劣な手口が横行しております。被害者の多くは、「特殊詐欺は知っているけど、自分に限っては絶対に騙されない」と思っている方です。

しかし、ある日突然、子どもや孫を名乗る者から、「至急にお金を用意しないと会社をクビになる」などと電話で泣きつかれると、何とか助けたいという一心から冷静さを失い、大切な年金などを騙し取られてしまうのです。

特殊詐欺の被害に遭わないために大切なことは、日頃から「このような電話を受けたら、自分はそのように対応するか」を考えておくことです。

そして、不審な電話があった際は、一人で悩まず、まずは、家族、警察に相談してください。

### ◎ 交通事故防止について

大町市内では、昨年、本年と、二年連続で年当初に、高齢歩行者が道路を横断中に車にはねられる死亡事故が発生しています。

高齢歩行者の事故の特徴としては、自宅付近で夜間歩行中に被害に遭う

ケースが多いことが挙げられます。道路を横断する際は、必ず「止まる」「見る」を忘れず、また、夜光反射材の着用により、「目立つ」ことに心掛けて下さい。

また、近年、全国的には、高齢運転者が加害者となる重大事故が社会問題となっております。

高齢運転者の死亡事故では、単独事故が最多を占めておりますが、加齢に伴う身体機能の低下が運転操作のミスや遅れにつながり、自ら命を落とし、同乗のご家族などの命までも奪う結果を招いています。

今や日常的となっている車の運転ですが、運転前にはご自身の体調に十分注意をして頂くとともに、運転に不安を感じたら、ご家族とも相談のうえ、勇気を持ち、運転免許証の自主返納をお考えいただきたいと思えます。

犯罪や交通事故の被害に遭わないためには、まず、「自分の身は自分で守る」という意識が何よりも大切です。

また、ご家族やご近所の話題にも取り上げ、悪質な犯罪や悲惨な交通事故に遭わないよう、お互いに気を付けて頂きたいと思えます。

私も警察では、皆様方がいつまでもお元気で充実した老後を過ごされることを願いつつ、引き続き治安の維持に邁進してまいります。

# 二十八年度 市老連役員研修会



標記の研修会は、去る一月十八、十九日の両日、大町温泉郷「立山プリンスホテル」にて実施された。この研修会は昨年度までの「幹部研修会」を改名したもので、各単位クラブでの役員をされている方々を中心とした勉強会です。

約六十名の役員の参加を得て、幾つかの学習内容を学びました。ここでは、四つの研修内容について概要と若干の考察を加えて順によって報告します。

## 研修Ⅰ 「新地域支援事業の概要」

大町市地域包括支援センター所長

荒井賢治氏

大町市では「高齢者が住み慣れた地域で健康で安心して生活ができる地域の実現」を基礎理念に据え「老人福祉計画」が立案されています。介護保険事業は北アルプス広域連合で行っていますが、地域の福祉は地域の力を十分に發揮して、介護予防や支え合い事業の推進を計ろうとしていることは承知

しているところです。

当日は、地域包括支援センターを中心に事業内容の概要について講義された。誠に申し訳なく思いますが、事業内容の二十九年度からの改正点を含め、それらの内容は複雑であり、一度伺って理解することは困難であると考へ、本誌では詳細は省きます。



代わりに、大町市で発行している高齢者のための福祉冊子「いきいきシニアプラン大町」「いいまちおおまち介護サービスガイド」

を案内します。

これらは市役所福祉課、三カ所の支援センターに用意されていますので、必要によってお取り寄せいただいで学んでいただければ幸いです。

大町市においては、左記に示すよう各地区に包括支援センターが設置されていますので、一度お尋ねいただか、電話でご相談いただきたいと思えます。

◎大町市南部地域包括支援センター  
☎二一―一七〇二(信濃常盤駅前ふれ

あいプラザ内)

◎大町市地域包括支援センター

☎二一―〇四二〇(市役所福祉課内)

◎大町市北部地域包括支援センター

☎八五―〇〇六二(JA大北平支所内)

まだ自分は「まだ若輩だ」と思いつつも、生活年齢は正直なもので、七十を過ぎる頃から足腰が痛い等々の自覚症状が出てくる方が多くなります。また、自分はともかく配偶者が認知症気味になってしまったなど老いは時を待たずやって来るものです。

そのようになってしまふまでに、躊躇なく右記の支援センターに相談してください。そこでは必要に応じて職員が家庭を訪問し、介護についての相談にのったり書類作成のお手伝いをしていくことができるそうです。所長さんの講演の一部を再編成してお伝えしました。

## 研修Ⅱ 「日本老人学会」が提言する

「准高齢者の意味するもの」概要

市老連会長 内川三郎

一月六日付けの信濃毎日新聞第一ページに右記のような見出しの記事が載っていた。

これらの熟語を見知っている方は研修会参加者の中には誰もいなかった。そもそも、「学会」とは何か、どのような方々がこの学会を構成しているのかわかりたいところです。



初めて聞く熟語だが、老人学会の言わんとする意図はわかる気がする。

超少子高齢化に直面している今日、年寄りと言えども六十代、七十代は働き盛りだ。豊富な知識と経験を活かして世の為、人の為に働き、仕事に見合う賃金を得てほしい。老け込んで、医者のお世話になるようでは、福祉予算はいくら増やしても追いつかず、国は疲弊していく。だから従来の「前期高齢者」を改め「准高齢者」と呼ぶことが適当であると提言したのであろう。

一般の企業や公務員の定年は六十歳となっている。しかしまだ年金年齢ではないので、非正規職員又は嘱託となり収入も半減する。医療費の高騰など、高齢者に対する風当たりは強くなっていく一方のようである。

そんな中で、長時間労働が原因で心身の異常を訴える人、過労死する人などが後を絶たない。

しかし、以上の事実には准高齢者の多くがこのような憂き目に合うのではない。言え、ほとんどの准高齢者は老後を楽しんでいる事実も忘れてはならない。

言いたいことは、簡単にマスコミや情報により「働かねば」と思い込んでいる私たちの弱さであると思いたい。近年、十分に高齢者となっているのに「まだ働かなくては」と言い、老人クラブ入会を敬遠する高齢者の多い事実は残念なことである。A氏は二つの文化活動・二つの運動クラブに属し、参加できるときに参加し、友達も増えて大変ありがたく思っているそうです。「准高齢者」を前向きにとらえてまいりたいものです。

**研修Ⅲ 会員実践発表表(概要)**

須沼長生会 会長 宮澤征男

単位クラブの活動の実際をパソコン入力され、その記録に基づいてお話しされた。会員八十五名。

①組織の分類(交通安全部・体育部、旅行部・文化部・奉仕活動部・ネットワーク部)など。「時世に合わせて」追加、削除など、工夫して活動をしているとの報告がありました。

ここでは、ユニークで創造的な活動をしているものの幾つかについて紹介したい。

◎交通安全部では、年一回、氏子神社でお祓いと安全祈願祭を実施しているとのこと。

◎親睦旅行は年二回だが、日帰り旅行では場所が限られるので、一回は一泊

旅行を実施しているとのこと。近年、老連の研修旅行においても、一泊旅行となると、出足が悪く中止せざるを得ない状況の中で、立派な実践活動だと感じます。

◎日常的なネットワーク活動

三世代交流をはじめ、折々に「ふれあいサロン」に参集して交流し合っているとのこと。参考になる実践報告となりました。問題は入会者が少ない、役を避ける傾向など、全国共通の悩みは尽きないようでした。

**研修Ⅳ 「求められる老人クラブ活動」**

大町市福祉協議会 丸山和也氏



「老人クラブは必要か？」と虚を突かれた問いに思わずドキッとします。

この逆説的な指摘によって、思わず襟を正す

研修会参加者であったであろう。「ぬるま湯につかって老人クラブ活動するようではまずい」と言われた思いだった。

さて、ご存じのように、老人クラブは「老人福祉法第十三条」によって位置づけられた組織であり、国や市から応分の補助を受け、活動の保証を受け

ている。

大町市では昭和三十五年、県下十三番目に県老連に参加し、大町市老人クラブ連合会が誕生した。

爾来、大町市は全国的に観ても加入率が高く、平成四年当時は会員数も四千名近くまで膨れ上がり、最盛期を迎えた。その後は、年々クラブ数、会員共に減り続けて今日に至っている。主たる原因は、多様だが、活動の中心となつて活動されてきた会員の高齢化、魅力がなくなつてきた、価値観の変化、まだやりたい活動が他にもあると等々が考えられている。

加えて、「老人クラブ」と言えども、会員の年代は六十代から八十代の半ばまで開いており、少し大げさに言うところ親子ほどにも年齢差が大きいのである。従つて、活動に際してはそれなりの工夫や努力は欠かせない事実である。

老人クラブという名称は戦後になつてからの呼称ではあるが、その歴史は古く、江戸時代、明治時代にはその組織の願いと実践の基は萌芽していた。

それゆえ、どのような方に聞いても「老人クラブ」という名称を知らない人はいない。

それほど膾炙している言葉であり、有名な組織なのである。

◎絶対的な知名度がある。  
◎全国的に観ても圧倒的に強い組織力

である。大町市内でも断トツに大きな組織である。

◎全国規模の情報を持っている。  
このような老人クラブは具体的な活動として「支え合い活動」「親睦活動」「健康維持活動」等々を展開してきているが、時代は日々動いている。「昔のように」ではなく今の時代に合った活動を創つていかなければならない。

一つの例として、老人クラブと社協が連携・協力し合つて所期の目標に近づけるように努力していきたいと思える。そして「大町っていい所」だなあと思える街にしていきたいものです。



**お詫びと訂正**

前号(第九十三号)において、シルバードダンスクラブの連絡先電話番号に誤りがありましたので、お詫びして訂正させていただきます。

●七頁三段目 電話二二一八六五七を  
電話二二一六三五 に訂正

# 市老連この一年

## 健康 友愛 奉仕



10月 県老連クラブ大会(駒ヶ根)



1月 役員研修会



10月 体育祭



4～10月 ノルディック



4月 春の研修旅行



1～3月 シニア水中運動教室



12月 わら工芸教室・門松寄贈



12月 福祉施設訪問



7・10月 マレットゴルフ大会



6・9月 ゲートボール大会



5月 老人クラブ大会



12月 門松寄贈



11月 文化祭



7月 女性指導者研修会



6月 ブロック研修会

# この一年 愛奉仕



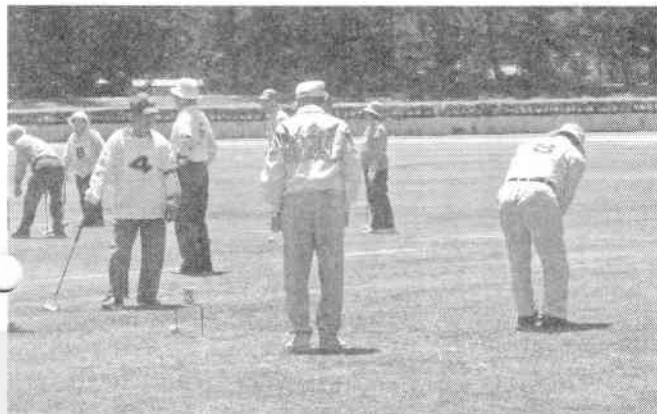
1月 役員研修会



4月 春の研修旅行



1～3月 シニア水中運動教室



6・9月 ゲートボール大会



5月 老人クラブ大会



7月 女性指導者研修会



6月 ブロック研修会

# 市老連と 健康友



10月 県老連クラブ大会(駒ヶ根)



10月 体育祭



4～10月 ノルディック



12月 わら工芸教室・門松寄贈



12月 福祉施設訪問



7・10月 マレットゴルフ大会



12月 門松寄贈



11月 文化祭

# 求められる

## 地域の支え合い

栄町栄寿会 会長 鷲澤徳司



今年四月から、介護保険制度が大きく変わります。少子高齢化のこんにちから、超高齢化社会を迎える二千二十五年に向かい、各地域でも福祉活動について、どのように進めていくかが大きな課題です。

私達栄町でも、平成十年度より大町市社会福祉協議会から数回にわたり、地域福祉ネットワーク立ち上げについての説明を受けてきました。翌十一年度より地域福祉ネットワーク「笑むの会」と称し活動を始め、現在十八年目を歩んでおります。おかげ様に自治会役員、組長、民生委員の協力を頂き活動も理解されております。栄町自治会加入者は、市営住宅七十一戸、持ち家六十四戸、アパート五戸、計百四十戸です。現在の市営住宅は、高層住宅に

建て替えられ心配はありませんが、以前の木造平屋建ての頃は、「笑むの会」がまだなく、お互い助け合いの気持ちで、町内のソフトボールクラブの仲間が高齢者住宅の屋根の雪落とし、吹雪のなか雪片付けに汗をかき、その後集会所での懇親を交わし仲間の絆を深めた頃が懐かしく思います。

現在大町市自治会組織数は九十七ですが、地域福祉ネットワーク組織数は四十五自治会と聞いております。自治会組織数の四十六パーセントです。他の地域ではサロン等の中で活動されていると思いますが、いずれにしても、地域でお互いを認め合い、理解し合い、支え合いが出来る町づくりが求められています。私達のネットワークでも、一人住まい、高齢者宅の訪問、安否確認などで思いがけない事件を発見することも数多くありました。



私達栄寿会では、十年前から高齢者の、体力づくりの一環として、隔週で脳トレ、筋トレ、体操を行い、その都度お一人百円を徴収し、お茶会の中で仲間の健康

状態など情報を頂くようにしております。今後も一層行政の指導を受けながら、安心できる地域づくりを進めていきたいと思っております。

## 八坂地区の

### 介護予防事業

八坂支部老人会



大町市八坂地区では、高齢者の心身の健康保持のために、大町市社会福祉協議会(総合福祉センターみさか)と八坂支

所が協力して、平成二十四年から八坂地区で生活する高齢者の方々に交流の機会を設けています。閉じこもりや認知症などを防ぐことを目的とした、「高齢者サロン(お茶のみばなしの会)」がその名称です。このお茶のみばなしの会は、高齢者の皆さんが公共交通機関を利用せず、気軽に参加できるように、地区内の基幹センターや集会所等を借りして、各地区単位で年間三十回程度開催しています。

サロンの内容は、自宅で簡単にできる軽体操の紹介や脳トレクイズなどを行った後、皆さんでお茶を飲みながら会話を楽しんでいただいています。本年度は、これまで十二カ所の集会所等で二十三回開催され、延べ百十五名の方々から参加を頂いており、この後、三月まで七カ所の集会所等で七回開催する予定になっています。近年では、少子高齢化や核家族化が進んだことで、他地区、他地域と同様高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しています。

加えて、交通の利便性等が向上した



ことなどの理由により、ご近所同士のことながりが希薄化したことが原因となり、どこにも出かけられなくなった方の孤独死などのニュースがたびたび報道されています。

八坂地区において、このような悲惨な出来事が起きないように、ご近所同士のつながりを深め、皆さんが健康で長生きしていただけるよう、事業の課題等を検証し、より充実した内容で次年度以降も続けていきたいと考えています。

### わら工芸教室

室長 三原 展夫



わら工芸教室は、昭和四十九年に古来からのわら細工文化の継承と技術の習得を目的に開講した長い歴史のある教室です。

発足当時から、一人暮らしの会員への正月飾りを贈呈してまいりました。また、二十年前から市役所玄関に門松を贈呈してまいりました。その他、ス

ペシヤルオリンピッククス白馬会場で外国選手と交流、立山黒部アルペンルートオープンカーニバル用履物の作成小学校や保育園でのしめ縄の作成指導、自治会等の三世代交流でのしめ縄作成指導等など、各種イベントに参加協力してきました。

わら細工の技術は、古来から『人の手から手と』伝わり作られてきました。地域の特性や、自分自身が使用するため、各人が工夫され作り方も多くありますが、基本的な作り方は同じだと思います。

わら細工は、冬の農閑期のしごとです。この教室も十二月と二月に集中的にそれぞれ二週間ほどの日程で開催しております。十二月は、しめ縄等の正月飾りをメインに、二月は宝船、蓑、つぐら、ごんぞ、わらじ等を作成しております。制作した成果は、毎年市役所市民ホールに展示して皆様に鑑賞していただいております。

今後も、講師を中心にわら細工の技術の習得を進め日本の伝統工芸の事実を、次世代に伝えていきたいと思えます。初めての方でも、丁寧に教えますので興味のある方の入会をお待ちしております。入会申し込みは、随時事務局で受け付けております。

### カラオケ発表会



二月十三日、市老連カラオケ発表会が総合福祉センターで開催されました。出演者数は三十四名と、昨年並みでしたが、来場者は百二十名を

超え会場満員の盛況でした。マイクを握ると、歌い手の方の世界が広がり、情景が浮かんで来るようで、皆さん大変な熱唱でした。以下、出場順にお名前と曲名を紹介します。(敬称略)

- ♪ 藤井 昇 (さざんかの宿)
- ♪ 松井 清家(王将)
- ♪ 小日向佳江(居酒屋「敦賀」)
- ♪ 山田 信子(紅の舟唄)
- ♪ 小林 正二(笛吹川)
- ♪ 大和 孝子(君影草「すずらん」)
- ♪ 松澤 真吉(桜貝)
- ♪ 奥原 幸子(天城越え)
- ♪ 西沢 幾美(うたかたの恋)
- ♪ 小倉 昭勇(ゆきづり)
- ♪ 羽賀 茂幸(谷)
- ♪ 伊藤三江子(ふたり坂)
- ♪ 佐藤 貞子(津軽のふるさと)
- ♪ 岡崎美智子(酒場ひとり)
- ♪ 徳竹 幸子(淡雪の花)
- ♪ 鷺澤 徳司(片恋酒)

- ♪ 高橋 君江(あじさい雨情)
- ♪ 菅澤 廣人(山)
- ♪ 宮澤 重勝(長良川艶歌)
- ♪ 市川 茂雄(涙の操)
- ♪ 奥原 英温(街のサンドイッチマン)
- ♪ 下田 敬子(温泉芸者)
- ♪ 松尾 繁人(男一代)
- ♪ 高橋かず子(カスバの女)
- ♪ 栗林 暁子(酒の宿)
- ♪ 五十川 渡(男船)
- ♪ 高橋 茂子(雪椿)
- ♪ 川上 勤子(哀愁港)
- ♪ 曾根原静子(壺坂情話)
- ♪ 和方 五郎(カサランカグッバイ)
- ♪ 大前 文金(花嫁峠)
- ♪ 竹村喜久子(棧橋時雨)
- ♪ 小林 澄江(ひとり越前「明日への旅」)
- ♪ 佐藤 弘文(博多川)



平成28年度 小銭募金集計表

クラブ名	募金額
白塩町百寿会	17,500
神栄町神栄会	17,919
旭町百寿会	8,926
南原町年長者会	20,421
北原町長寿会	15,350
堀六日町シニア百寿会	11,200
高見町百寿会	5,016
大原町老友会	9,976
栄町栄寿会	17,908
宮田町睦会	10,400
須沼長生会	20,783
下一百寿会	15,010
上一老寿会	26,144
清水百寿会	16,843
泉百寿会	12,312
仁科郷若草会	6,037
借馬百寿会	15,788
野口百寿会	26,316

クラブ名	募金額
西原南山会	6,401
館之内百寿会	21,285
山下福寿会	20,484
宮本健楽会	37,379
大平寿会	17,808
石原スマイルクラブ	10,000
切久保鷹狩クラブ	18,863
中央高砂会	0
野平寿会	17,889
舟場老人クラブ	11,222
大塩老人クラブ	13,650
新行老人クラブ	15,451
青具老人クラブ	22,960
28年度小銭募金	487,241
27年度繰越金	419,457
利息	3
合計	906,701

寄付先	金額
施設募金(社協)	100,000
〃(れんげ荘)	30,000
〃(鹿島荘)	30,000
〃(なかまと)	30,000
〃(えべや大町)	30,000
〃(がんばりや)	30,000
単位クラブ事務費	48,500
熊本地震拠金	177,600
合計	476,100

◎残高(繰越金) 430,601円  
繰越金は、非常災害時の募金に備えます。  
糸魚川市大規模火災義援金予定

事務局日誌

28年12月~29年3月

- 12月3日 共同募金街頭募金 鷺澤副会長 市内大型店頭
- 10日 市役所門松贈呈 玄関設置 わら工芸
- 13日 区市町村老連会長・事務局長会議(鷺澤副会長・事務局)
- 15日 第3回理事会・会長会議 市役所
- 16日 大町市地域公共交通会議 市役所
- 20日 老連だより94号編集会議 市役所
- 21日 北ア国際芸術祭常用報告会 会長 市役所
- 22日 保育園3世代交流会 わら工芸  
施設訪問(社協他5か所) 正副会長・事務局
- 1月13日 シニア水中運動教室開講式 37名参加
- 17日 シニア水中運動②
- 18日 ゲートボール教室開講式 16名参加
- 18日~19日 市老連役員研修会 立山プリンスホテル 57名参加
- 24日 シニア水中運動③

- 29日 福祉大会 会長 サンアルプス
- 31日 シニア水中運動④
- 2月1日 交通死亡事故現地診断、事故防止検討会 市役所
- 2日 わら工芸講習会(II期)17日まで 消防団詰所
- 3日 カラオケ発表会準備会 総合福祉センター
- 7日 シニア水中運動⑤
- 7日~8日 女性部研修会 蓼科横谷温泉旅館 16名参加
- 13日 カラオケ発表会(120名参加 出演者34名)総合福祉センター
- 14日 シニア水中運動⑥
- 20日 人生二毛作推進ネットワーク会議 会長 合同庁舎
- 21日 シニア水中運動⑦  
県老連理事会 長野市
- 28日 シニア水中運動⑧
- 3月2日 第4回理事会
- 7日 シニア水中運動⑨
- 9日 シニア水中運動⑩(閉講式)
- 16日 第4回会長会 市役所

編集後記

◆三寒四温の早春を迎えました。畑を押さえつけていた雪が消えると、昨秋取り残しておいた野沢菜が急に頭を持ち上げ、若葉を伸ばそうとしています。自然の偉大な営みに畏敬の念を抱きます。◆私も老連の活動も大方の諸活動を無事クリアし、新年度に向けて準備が進められています。四月からは再び球技の快音が聞かれます。◆今号では特別寄稿として、公務ご多忙中にもかかわらず大町警察署所長、清水宏光様から「特殊詐欺・交通安全」について、心の持ち方、心身の安全の確かめについてご寄稿いただきました。知識として学んでいる私どもですが、改めて心が引き締まる思いで伺いました。厚く御礼申し上げます。◆今春は、単位クラブ及び老連役員が改選される年です。引きつづき役を担われる方も多いと思いますが、お辞めになる役員の皆様には「ありがとう、ご苦労様でした」と御礼申し上げると共に、今後とも良き先輩として老連活動にお力添えをいただきますようお願いいたします。◆皆様のご健勝を祈ります。四月から再び一緒に元気ではつらつと活動して参りましょう。(編集係一同)